

▲徐世昌と復辟

國恩に報すべしと
支那の今日も亦宋朝と異なるなく
言論多きに煩はれつゝあるは事實
也即ち輕薄なる態度を以て陳言する
者多きは確かに事實なり、即ち史宥
が李沆沒して宋乃ち多事なり、筆
の雄を爭ふて、郊原の婦女も國事
に議し、復た桑園瓜田の間に寧處す
こと能はざるに至れりと評せる如
今日の支那も亦李沆死し後の政
現象と更に異なるなし、從來南
統一、南北和議に對する宋時の陳
者、今日の函電者の多く、遂に何
を爲すを得ず、徒らに國內の喧囂
を來し、其可なりとの嚴正に

招きよしに其位。の録記に
らずや、是れの上に、
惹起せしむるが如き徐世昌あり有
の君子にあらすして、李沅の如き
見を有せざるが爲めなり即ち、徐
に於て安直兩派に兩手を掛け、其
位の擁護に日も又足らず、外に於
陳言者を多からしめ、陳言者彼の
に至れば所謂其理由を知り、其野
を知らず、其善なれど善とするに
らざるを知り、其善なれど畢竟狹
なる私見に過ぎざるを知るが如き
見なく、寧ろ陳言者を歡迎し之等
利用して、安派を牽制するに腐心

此時に當て直派たる張作霖、曹錕は異に悦を取りし同志吳佩孚と見を異にし、時局解決の方針に關し、吳の主張に出でたる國民大會召集に反對し、南方軍政府も亦張曹と同様國民大會の召集を否認し、之と同時に南北實力派の和議統一を實現するに決したるもの如く、南北の衝に當る江蘇督軍李純と和議總代表に任命し、王揖唐を罷免したり、是れ従來の統一せんが爲めの統一策にあらずして、國內の喧嘩を招きし從來の和議統一策と意見を異にし直截簡明にして確かに有意義の統一策たんに相違なし、而かも直派と暗に脈絡を爲す

以て統一を圖らんとしつつあるは固より掩ふべからざる事實なれど、從來陳言を好み醜言を興ししめ、醜言を聴き訟言を競はしめ和議に喧嘩を爲す其論調を變へ

▲日次▼
徐の度量疑はし
徐の度量疑はし
實力派の統一熱
天津會議の統一熱
國語教育問題
國民大會問題
南北親善の過去及現在(九〇)
典義と現代文藝(八五)
西遊記の諸目録
支那外交史(一五)
癸卯年誌
米國新聞「國來支」
其他
電報
雜誌
漢字新編論調
金幣市價
公人私入

十一 十九 八 七六六四三二二一

をせし兩廣陸榮廷已に其子思陸裕光を
廣東に派し福建李厚基を討つと稱し
道に「先づ民黨系陳炯明を撃ち、彼を
識て漳州より遂ひ、尋いで自然に李厚基
内地を退走せしむる策に出で始めたに
地に至りては、李純を總代表に任命せ
るに相呼應せる一策は乃ち更るべく、南北
前實力派の統一策はものを見るべく、南北
心勢力より觀察せざるべからず、徐世
心斯くの如き形勢より見れば、徐世
陰昌從來の有道の君子にあらず、言議
識なりにも似ず、着々成功し易きに
を似たり、然れども徐は李沅の如く中
外陳する所の利害に關する意見を一
せしめたる術に、主軸は變じ
べからざるが當然なる、異常の
覺悟を以て、從來の非を悔ひ、
の私心を去りて復辟を斷行し得る
若し此覺悟なければ徐の復辟は列
強の導火線を與へて國を亡ぼす
至らんのみ、臺灣銘は公法帝國條
約を發表して、日本に扶助を請へ
が、日本を排して親米せる徐は辜
言議に忠實如何の感がある、復
最も忠實なる吾人は、徐の有道の
子にあらずして、中外の陳する所
意見を却下して國恩に報するの度
意を深く懼れ、支那をして宋末
否運に向はしめんかを痛く危ます
を得ざるものなり
(白川生)

倒れて直派代はる、安派は親日賣國黨

て不人氣であつたが、代つて出て直
亦親米派として不失氣であらねばなら
是れ當然の輪廻で又已むを得ない
腦は「賣國黨は買主によりて區別さる
のでない、今の周自齊等は親米賣國黨
ないか」その意味を云つて居るが誠に

は餘り賣國奴を叫んだ結果は、今後護
國事に當るこの出来ぬ、程困難なこ
となつた譯で、従つて之より直派は益因
あるう、列國監視の下に立つことを欲
いても、日米對立を前提としてやつて
因縁上、政客青年は米の野心に乗じと
様に推し向けて居る、即ち彼等列

國議院議員の來歴に就き、政客學生等の
 米議員の演説なり、皆悉く日
 語に譯して、賣國後の甘味を味はせられ
 りと計畫して居るらしい、換言せば、後
 賣國の汚名を直流に蒙らしめて、後
 主市吏の叫びで以て放肆な行動をやる
 らへて居るらしい。

立を前提とした言議行動ならざるはな
ある、米のスターリンなど「余は二十
條に對して最も義憤を抱いて居る、諸
英國に登りてウケリヤムが地上に仆る、諸
トヤムは土を、握りして、英國は吾が
に在りと叫んだ、二十一個條は之と同
支那の幸福ではないか」と煽つて居る

くして直派は益困る、直派中の特別
作家は、親米派でないが、さてどうす
解決するのだろうか、識見も勇氣もな
く双方好して立つ徐世昌を中心とし
かしく苦心な事である、排日親米の
激進派思想を翳愛せしめた徐は之を鑑
み、要するに米を後盾とせざるを得な
い、客の今更には已介千萬である

橫濱正金銀行

支配人席三〇〇三
輸出係三〇〇二
送金係二七四



● 資本金 六〇,〇〇〇,〇〇〇 圓
 ● 拂込濟 三七,五〇〇,〇〇〇 圓
 ● 積立金 七,三〇〇,〇〇〇 圓

本支店及出張所

臺北、臺中、臺南、基隆、嘉義、打狗、
 蘭、淡水、新竹、阿猴、花蓮港、臺東、
 湖島、東京、橫濱、大阪、神戶、香港、
 東、汕頭、廈門、福州、九江、漢口、新
 坡、スラバヤ、スマラン、紐育、倫敦
 孟買、桃園、パタビヤ其他各所ニ
 引先アリ

上海黃浦灘路第拾六號



報要聞道

實力派の統一歟

▲北方の内訌及福建攻撃
▲張作霖と陸榮廷の提携
▲要するに復辟の兆兆乎

北方に於ては張作霖曹錕等の實力派が政權を握り南方に於ては陸榮廷の大廣西主義は今や福建を併せんとした天下の形勢は南北實力派の掌握に歸したり北方の安福系倒れ吳佩孚孫洪伊一派に編てられて國民軍政府を呼ぶ張作霖に反對し更に軍政府も其實行不可能を叫び況んや政敵たる雲南貴州あるに於ては到底實行され得べきものにあらず、南方に於ては民黨既問題にならず現存の政きかされど其開議は惟だ一片の形式手段のみ

然り南北兩派の實力派は提携せり此に於て張作霖曹錕一派と陸榮廷一派は其聯合の楔子たる復辟實行に進むべきが當然の順序なれど國體の變更てふ一大事業は段派民黨に好箇の籍口を與ふるものなれば今暫らく形勢を觀望せざるべからざる慎重に慎重なる態度を取らざるべからざるなり、是れ役者既に揃へたるも今日の時局は復辟實行には好箇の舞台と云ふべからず故に張作霖は先づ時局の善後策として北方を安定すべく天津に會し段派を再び起つて由なからしめ今や北京に凱旋將軍の威風を以て堂々と乗り込みたりと傳ふ、

天津會議內容

時局の善後策に關し張作霖吳佩孚等の要求なるものは前號に記述したるが該要求に對するの統制は

一、安福俱樂部解散
二、安福派議員の懲罰に關しては政府は充分慎重なる調査をなし適當なる罪を附し更に假借せず又右懲罰に關してはの干渉を許さず
三、全國會解散問題に荷も法律問題に關する故充分調査の上確定す
四、遼陽軍西北撤兵の外邊防の兩字を冠したる凡ての機關を全部解散し徹底的に改革を行ふ

五、和議總代表王揖唐を免職し趙爾巽より有名な政客を推拔し任命すること
六、直隸奉天兩省を永久に京畿に駐屯保護に任ぜしむるの件は宜しからず重要地方たる東三省をなるべく比較的安全なる京師附近に來るの要無し直隸奉天亦其原駐防地を捨てて入京すること
必らず
○意見を表したりと故に週間に於て右個條を逐條行せり
次いで曹錕、張作霖は二十九日天津曹錕花園に於て直隸省長曹錕、蘇鐵鎮守使曹錕、天津鎮守使趙玉珂、前綏遠都統潘矩楹、第二十八師長汲金釐、第二十七師長張作相、暫編奉天軍第一師長張景惠及び同參謀並に江蘇督軍李純代表、江西督軍陳光遠代表、湖北督軍王占元代表等を召集し豫備會議を開き
一、新國會解散
二、新黨團を推して内閣を組織せしむ(新は其席に於て極力之を辭退したり)
三、上海和平會議取消
四、裁兵實行
五、舊債清理、經費節省
六、邊防訓練處を改めて全國訓練處となし仍ほ舊黨團を以て處長とする
この方針を決議し更に傳へらるる消息に據れば曹錕、張作霖は別室に於て意見を交換し其結果
一、安福派の組織を清算す
二、新内閣が内閣組織を肯んぜざれば李純を推して内閣を組織せしむ
三、新國會を解散す
四、新國會を解散す
五、南北一致して清國總國會を運出す
六、南北一致して清國總國會を運出す
七、副總統は南方より選出す
八、南北に於て臨時法律規程處を會組す
この大綱を決議して愈々八月四日張作霖、曹錕、は前後して北京に入り而して吳佩孚の所謂國民大會召集案に對しては曹錕同意を表示せず張も亦同同意の意見なきを以て目下吳の態度頗る強硬なれども未だ討議せらるるに至らず

尙ほ今次該會議に關して政界某要人の談に據れば三十日の會議に於て左の問題を解決したりと即ち(一)全國の官職去留案(二)國會議員選舉案(三)警察排除案(四)副總統候補者推舉案等々(五)等五問題は既に解決したるを以て曹錕兩人入京して總統に實行すべし
因みに張作霖は前記に外字記者に其意見を發表せることは前號に報じたるが更に二十八日天津邦人記者に對し左の如く語れり
調停者たる自分が大軍を率て山海關に入り直隸軍を策應して安徽討伐の舉に出た事は第一次入京の際極力段派に勸告する所有りしに更なる顧みず徐樹錚等一派は却て三度余を暗殺せんと圖り且つ他省駐在の我奉天軍の覆滅、東三省の覆滅等を企てたり此の敵對行為に對し已に無く武力に訴へし次第にて惡辣なる敵對分子を殲滅し國家を泰山の安きに置かんと意に外ならず南北和議に就ては既に陸榮廷、岑春煊等と間に諒解あり雲南唐繼堯に對しては未だその運に至らざるも意志の疏通を見るべし
とて和議の成立を確信せらるる、如し今後時局の收拾は勿論段派の處分に關して(一)大總統の意志に於て從來の關係上總統の意志に絕對に服従する考へなれ共自分として私情上段派に官職を與へ後生を安穩に送らせんと希望に堪へず與へんとし恐らく之に反對する事あるべしと直隸省の捷利は排日運動を連想し日支關係の憂ふべきものあるに似たり此點に關し曹錕と會談せる事あれば恐らく再發を見るに至らざるべしと時に曹錕が自己の意に従つて動くべしと云ふ下安福派は將校二十箇年十箇の割合に解散せし居れば近き結了すべく我奉天軍二十七師は南滿に二十八師は庫倫に駐屯し津間の列車運轉を見るに非ざるべしと云ふ然り張作霖等は入京せり時局に對し如何に其手腕を振ふやソノ次號に譲らんが其善後問題に對する意見は左の如し

奉直の善後問題

張作霖

曹錕は右の如く入京し吳佩孚も亦六日入京せり時局の具體的善後問題は是れより實行せらるべきが之れより前記傳へらるる消息に據れば奉直軍は軍事善後問題として
(一)武力を以て安徽派及安福系を排除する問題に曹錕の代が主となり張作霖李純の之れを協助す
(二)軍事を收束し内閣を組織する問題に張作霖曹錕の代が主となり張作霖李純の之れを協助す
(三)南北統一問題に李純主となり張作霖の之れを協助す
と内定したりと故に第一問題に既に實行され現在に於ては第二第三問題に對し又張作霖曹錕は時局に對し大要左の如き意見を有すと傳へらる

(一)南北統一問題 即ち實力派の統一にして張作霖は既に陸榮廷と聯絡すべき旨を單獨に引受けたりと其他は先づ八省督軍より唐繼堯に申告する所ありて若し唐が協賛するに於ては之れを暫留し陝西の于右任福建の陳炯明、湖北の西在張天爵、柏文蔚等の位置に就きしむるも略論を取るべし
(二)軍事善後問題 南通の張敬芳が段軍の潰兵を水利事業に使用すべしと通電したるも這は經費の都合上到底實行されず、張曹は裁兵發給に對して今だに何等の表示なしと目下議せんとするは只段軍の處置なりとす
されど西北軍の如きは名義上は解散せられたりとも雖も事實上に於ては各督軍の轄下に歸せられんといふと、及び即ち洛陽の宋邦卿、張鼎勳の兩旅は陳樹藩に通州の宗子揚の旅は奉天軍に、蒙古の褚其祥の旅は王廷楨に歸せらるべしと、故に第二問題は張曹の如何に處置すべきが頗る注目に値す
(三)内閣問題 即ち新黨團組織す其類振の如きは左の如し
陸軍總長 靳雲鵬
內務總長 田文烈
財政總長 周自齊
外交總長 顧維鈞
郵傳總長 趙爾巽

日清汽船株式會社

上海出帆

鳳陽丸	郵船棧橋ヨリ發
南陽丸	大九丸
瑞陽丸	浦東棧橋ヨリ發
大九丸	大九丸
大九丸	大九丸
大九丸	大九丸

上海支店

電話	輸出宿直	四七六
船客	三三二五	九

上海廣東路五號及太號
電話 浦東棧橋 一八四七
電話 監督 一八四七
漢口宜昌線 一ヶ月六回
漢口湘潭線 一週二回
漢口常德線 一週二回
九江南昌線 一週三回

三菱物分析所

上海廣東路九號

石炭	製紙	電銅	電石
調査	鑛物	鑛物	鑛物
分柝	分柝	分柝	分柝
鑛物	鑛物	鑛物	鑛物
鑛物	鑛物	鑛物	鑛物

六五三三〇四六九二〇二九一

の不滿を抱き居れり又一方に於て

會を開かします第二歩として若し吳佩孚反對か不成功の時は大運動費を

▼殷恭先 十營内二營は宿縣に三營は烏衣縣
州那光に駐屯す

第二路司令	劉志陸
第三路司令	馬濟
第四路司令	李根源

一を實現するに至らんか
此に注目すべきは唐紹儀の態度と

北鐵道社

(二)治安警察條例出版印刷業者
管理條例預戒條例及戒嚴令第十四
條を廢止す(三)法官保障條例を廢
行し政潮に牽入せしめず
(丙)行政(一)民政は軍政の上に在
り、財政警察等の權は軍人干渉す
るを得ず(二)一年内に全國市郷地
方自治を回復す(三)官制を定むる
には國會或は省議會の通過を要
し變更するを得ず(四)審計、大理
平等等の院は宜しく別に法規を定
め國會より嚴重に監督すべし
(丁)政務(一)裁兵軍費は多くとも
百分の三十を越るを得ず(二)廢
止軍隊は中央より直轄し軍區を
劃分す(三)軍費の豫算は國會の通
過を要し増減權を有す(四)以後の
借款は地租を以て担保とするを得
ず速かに経界を清理し田賦を整頓
す並に裁厘加稅案を國際聯盟に提
出し以て財政の整頓を謀る(五)借
款は預布して國會の通過を要す
(六)外交は公開し國內正式程度
を経ざるの條約は一切廢除す(七)
豫算は豫算年度前に國會に提出す
(八)豫算を増加し全國義務教育基
金を辦理し大學及專門學校を増加
す

徐總統の罪己令

安直

兩派の爭執は現總統徐世昌が自己の
位置を擁護せんがため否現位置を獲
んがため左右の政客を利用して爲
さしたることは曾て報道したり
然り而して安直の爭執は遂に今日の
結果に陥らしめたるも直隸派の勢力
愈々旺なれば應て徐の位置を動
搖するや必せり故に彼れは段祺瑞を
懲罰すべしとの直派の要求に對し之
れを慰留し依然として兩派の均衡に
よりて位置を保持せんとの努めつゝあ
り、然るに四日附を以て帝王に模し

たる罪己令なるものを發表せり、既
に責任の在る所を悟りしならば斷乎
辭職すべき筈なるに徒らに體
面に弄せられ一時のテレ隱しを爲し
つゝあるは愕然の至なりとすソッ
鬼に角として全文を紹介せば左の如
し

本大總統は就職の始め佳兵の不幸
なるに鑒み保國安民を以て主旨と
なし涵容隱忍すること茲に二年區
々の誠心を以て各方面の意見を融
化せんと欲し遂に委曲遷就を惜ま
ず調和に従事せり然るに一黨專制
して政潮を激起し政令已ますして
繼て兵禍を以て戈を同盟に操つ
り血を近畿に喋り、心の期する所
適事事實と相反す假令制取方ある
も亦何ぞ今日の横決あらしめ商民
を以て塗炭せしむ孰かのために之
を爲し孰れか之を致さしめて以て混
淆を局釀せる、躬に返さうして循
省するに疚何ぞ追はん、況や民
國の擾攘極まり本大總統は前愆に
失に懲り後車の戒めたるに凜然一黨に
私徇せざるも卒に後禍を引ひるな
く一兵を私置せざるも卒に兵争を
起ひるなく一入を私用せざるも朋
比把持する者轉た牽掣する所あ
るを得屠諸基だしく之を前の經過
する所に較ぶれば殆んど又甚だし
是皆事を見て明かならず機に臨ん
で斷ぜざるが爲めにし初め寧靜
を以て亂萌を召くを料らず德薄
才疏茲の國勢漸微し來日益々難く
因果相尋ぐに至つて懷息すべし、
願ふ所は邦人君子一に悔禍を以て
心を爲し之を正軌に納め國家の威
信を崇げ時局の糾紛を解ふ人皆自
省の心あり斯世競爭の患を少ふせ
ん國の爲め民の爲め百端理を待つ

所謂罪魁問題

勝ては官

軍敗割令發表されて以來徐帥罪魁
何處に於身を避けつゝあるが歩軍統
領王懷慶は徐樹錚等は公使館區域に
逃げ隠れたるものとし各出入口に憲
兵を派し同時に徐樹錚に三萬元官職
償に二萬元其他には一萬五千元の懸
賞を附したるに又八月三日に至りて
は發表せられたり、即ち左の如し
政潮は共和國家の通例なり法律は結社集會
の自由を許す安福俱樂部は政黨の性質を具
有し自ら法律の禁ぜざる所なり近年以來遂に各省
地方團體を攪り書翰電報を以て該部が私と
公國を談するに列強の之を解散を與んご
とな請ふ該部は之を蔑見各同しからざる
攻撃は免るる所なり遂に自ら探究を用
ひて支那の之を亂るに於ては徐樹錚等
兵を遣はして亂を起し然るに徐樹錚等
食を提議する者は皆該部の主要黨員たり其
の支那の之を亂るに於ては徐樹錚等
食を提議する者は皆該部の主要黨員たり其
の支那の之を亂るに於ては徐樹錚等
食を提議する者は皆該部の主要黨員たり其

日安福解散令

日安福解散令

政潮は共和國家の通例なり法律は結社集會
の自由を許す安福俱樂部は政黨の性質を具
有し自ら法律の禁ぜざる所なり近年以來遂に各省
地方團體を攪り書翰電報を以て該部が私と
公國を談するに列強の之を解散を與んご
とな請ふ該部は之を蔑見各同しからざる
攻撃は免るる所なり遂に自ら探究を用
ひて支那の之を亂るに於ては徐樹錚等
兵を遣はして亂を起し然るに徐樹錚等
食を提議する者は皆該部の主要黨員たり其
の支那の之を亂るに於ては徐樹錚等
食を提議する者は皆該部の主要黨員たり其
の支那の之を亂るに於ては徐樹錚等
食を提議する者は皆該部の主要黨員たり其

復讐の罪魁俱有爲は幸ひに法網を逃れ相介し
趙達せりが三日附を以て段祺瑞を討つべしと
通告せり、夫れ段祺瑞は罪魁なる能はず然れど
も復讐罪を容れ得べき所ありす復讐罪
段祺瑞は兩派を討つた然れども復讐罪の名を
討つべしにあらざる有爲は先づ復讐の刑に服し
而して後段祺瑞の罪を討つべし然るに
されば世人は前日復讐成るるの恨を報ん
ずるものなりと疑ふ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりとす、段派に對
する懲罰の聲は大理石の如し
徐世昌を討て、更に全國各界聯
合會は曹錕吳佩孚に對し
今日の曹錕は段祺瑞と徐世昌なり公等は段を
討つて徐を討たざるは何ぞや夫れ徐世昌は
世凱時代在りて國務卿に任じ國の二十一
個條に調印し文高徐樹錚徐樹錚の拍賣
以て總統を運動するの費とし時局對徐樹錚
調印する際は直轄交際の傾向あり徐の罪は段
より上なり即ち徐の帝制に賛成し運動し復讐
を起すに至りては段より爲さしりしなり
近頃以來に土匪亂の軍隊を擴張せり戰動の起
用を力謀つてあり此等の兇惡を觀て元首
と爲すに實に我が支那國民全體を汚し國本
を危くするものなり惟だ公等之を罰れ
と通電し全國學生會は
官憲軍閥を討て、とて
(前略)段派勢力失ふに至りて直隸に隨聲附
和す斯くの如き苟安固陋にして何ぞ國本を強
固にし得べきや即ち全國の民意に本き徐
世昌段祺瑞徐樹錚王揖唐張作霖曹錕徐樹錚
及帝制の余孽復讐罪魁を以て懲罰せしめ法
に置き其他他國の軍閥官僚軍閥軍閥の政
客走狗も亦法によりて懲罰せしめ法を假して中
途變換する輩は懲罰と懲罰と論なく皆罰
に掛くるに足らず戦へば進退常々和を言へ
ば繼續定まるなり南北共に一部の路なり我國
民は此等對して相當の懲罰を加へよ
と云ふに在りて却つて一般の嘲笑を
招きたるは滑稽なりと

上海報界の過去及現在

所謂府院問題の發端

△中心勢力を作らんとするもの
△所謂府院問題の發端
△斯様な譯で當時の形勢は、梁啓超等の立場を危険ならしめたものである。

△中心勢力を作らんとするもの
△所謂府院問題の發端
△斯様な譯で當時の形勢は、梁啓超等の立場を危険ならしめたものである。

典籍と自己と現代

(二六)

自大學經學中來者純

▲清初に仕へた洪承疇の奏對筆記
▲大學經學は決して言説的ではない
▲是れ凡そ事は先入主なるもの

營業種目

- 銅及真鍮板、管、棒、線
鋼鐵管、釘、鉄及鐵線
各種被覆絶緣電線、電纜

住友洋行

上海九江路五號
支店 支店 支店
支店 支店 支店



朝鮮銀行

資本金 八千萬元
積立金 五百五十萬圓
上海南京路七號
支店 支店 支店

本通信は支那言論界の中心たる上海日刊漢字紙の記事を選

上海市内限三第



西藏に英支外交史 (五)

一四、達賴喇嘛の行動(上)

是に於て支那政府も西藏に於ける勢力を確保するために獨り東部に於けるのみならず拉薩をはじめ内地各所に於ても軍隊を派遣駐屯するの必要を認め兵三千を増派し一九一〇年(宣統二年)六月鎮綱に命じて之を率ゐて進軍せしめ鎮綱は道徳格にござり江卡を迂回して察木多に到着した

閉鎖し西藏人の有する銃器を没収する等々の活動大に振ふ

一九〇四年六月ヤンガハスバンドが遠征軍を率ゐて西藏に侵入するや達賴喇嘛は極力遠征軍を拒止せんとするの策を講じたるも其の遂に勝算なきを知るや八月遠征軍の拉薩占領に先だちて青海へ遁走したるは既に述べたるが如し

其後彼は庫倫に到りて活佛のもとに在りしが程なく兩者の間に不和を生じたるため翌年九月同地を去りて西藏の北境に近き某所に赴きたり同地に滞在するも彼は切りに復活せんことを計り種々苦肉の策を弄したり、例へば一九〇六年中には例の露人ドウヂエフを使者として露都に遣はして露帝の保護を求めて安全に拉薩に歸還せんことを乞ひたるも露國は當時英國との協同漸く圓滿ならんとする時に在りたれば英國の意圖を顧慮して達賴を顧みず越へて一九〇八年の春に於て當時彼の留置せし山西省の一地より書を北京駐節の各國公使に書を送りて西藏に於ける喇嘛の請願ありしことを口實として拉薩歸還の希望を陳べて列國の意圖を伺ひたれども列國公使は何等賛否の意思を表明せず唯だ英國公使のみは「一九〇四年の印藏間の紛紜は達賴統治の出来事にして爾來印藏間の和親日に加はるの今日達賴の拉薩歸還に對する英國政府の意圖は宣明する能はず」と回答して暗々彼の歸還が西藏印度間の圓滿なる交情を案するものとして暗に不賛成の意を示したり斯くて列國より顧みられざる達賴は止むを得ず閭々の情を抱いて西藏北境及び甘肅の諸方を放浪せざるを得ざりき

時支那政府に於ては恰も西藏に於ける權威の確立を決意し東部西藏に於ける武力政策は着々として成功の緒に就き居たりし時なりしかば失意の達賴を懷柔せんとするの策を建て一九〇八年七月支那朝廷は勅を發して達賴の北京來訪を慈意したり萬策窮して將に棄だに損するの境遇にありし達賴喇嘛如何でか此の福音に應ぜざるべき勿々召に應じて北京に到着したれば政府は大に之を歡待し順治九年五世喇嘛が入京して初めて清朝との交通を開きたる時に客館として建造せし歴史的建物たる西黃寺を客舎として之に居らしめ且つ清帝は曩に拉薩進走の際懷柔せし稱號を回復する等大に懷柔の策を講じた

然れども茲に達賴喇嘛の人となり

を窺ふに彼は單に優柔輕薄の徒のみ

行ふ所に主義節操なく要するに執着する所は第國時代さながらの權力の維持にあるのみされば此の目的のためには主義を問はず手段を擇ばず其の親族たるを親露たるを將た親支たるを擇ぶ所なく苟しくも達賴の地位を保持すれば足るものにして萬事を利己主義に利用するに在るのみ

故に彼は滯京約一ヶ月大に恭順の意を致して支那政府の了解を得て拉薩に歸ることとなり十月下旬北京より北路して拉薩に向ひて達賴の北方ナグチスカに到るや當時趙爾豐が東部西藏に於て活動をなしつゝありしを以て忽ち書を在江孜の英國貿易監督官に電報を發して「現今支那官吏趙爾豐は駐藏官と協同して西藏人壓迫の企圖を廻らし多數の軍隊を西藏領域に入れ西藏の宗教を廢滅せんことを謀りつゝあり達賴は列國の干渉によりて之等支那軍隊を撤退せしめんことを希望す」と手を翻せば即ち兩、達賴の行動に於て娼婦の如きを看取せずんばあらず加之彼は更に使者を出してカルカッタを経て海路北京に到らしめ英佛日露の四公使に對して直接の援助を求むるの文書を呈したり

然れども達賴は行を續けて兎に角も十二月末に拉薩に入り流浪五年にしてその宮殿に入るを得たるも支那軍隊の活動は愈々活潑に發展し漸次拉薩に近づきつゝありたれば達賴も全力を竭して防守に努めたるも支那軍は一九一〇年二月九日に到り遂に拉薩を占領するに到りたれば達賴は又も南走して印度に到るに決し二月十二日拉薩を脱出してシキムを經二十七日ダーージリンに到着したり

曉枕偶成

浙江教育廳長 夏敬觀

夏木陰陰夾宿題。還如作屋在林

垌。東窓微白棲禽動。百囀都宜枕上聽。

中華滙業銀行

電話支配人席中一九四六番號一般營業部中一九四六

爲替、預金、貸付其他一般銀行業務精々勉強可仕候付御引立の程奉願上候



三井洋行

東京火災保險會社
明治火災保險會社
日本火災保險會社
共同火災保險會社
東京火災保險會社
千代田火災保險會社
横濱火災保險會社
神戶火災保險會社
大阪火災保險會社

三井洋行

上海三井洋行

ルービヒサア



山口商店

上海文路第一號

(電話北五四九)

鈴木商店 上海支店

九江路三號

電話 中中 二二三 二二三 三三三 三三三 六七八 番番番

本店 神戸市東川崎一丁目一目番地

日本郵政株式會社

(電話四九九〇話)

所を以て米國人士に感謝すべきもの四あり即ち一、義和團賠償金を還附して學生渡米の費とし我國智識を増進せられしこと二、民國を建設したる時首めに承認せられしこと三、巴里會議に支那を援助し對獨條約を調印せられしこと四、我國國民が憲法官吏に反撥せる時中立態度を取られしこと支那投資に對して一層積極なりしこと

等には實際の政治を談するを願はないけれども、實際の政治の爲めの一時期一時刻來りて我等を妨害せざるものはなし、九年以來今日迄我等は僑民の爲め種々の不自由の苦を經驗したるが爲め我等は一種徹底的覺悟せねばならぬ、其之を爲すに就き我等は、人類自由の歴史は人民の血汗を換へ得

文苑

遊金陵記 (六) 中西牛郎

然而予之所感者。尙不在此。城外之北。有明孝陵。太祖之墳墓也。予等相率登其岡阜。佇望西南。城郭高大。煙雲相連。迴還環繞。不見其端。所謂金陵周百里者。誠不虛矣。既下岡阜。則見牛馬駱駝獅象人物之盛。以石彫刻者。夾路而立。蓋謂於孝陵之遺也。予於此低回不能去。以謂在昔英國史家顏爾。憑弔羅馬故墟。俯仰感慨。不能自己。卒成千載不朽之作。而尋其初也。自一瞬間之感想也。夫人人生貴乎一瞬間之感想。何也。以其包含無限之意義也。予坐此荆棘銅蛇之中。瞑目入定。心與造物神。神與萬古通。此亦一瞬間之感想也。何乎感。何乎想。今乃反而求之吾心。而有惕然自得者焉。無他。中國文明之悠久無疆是也。不見夫秦西乎。古代名邦。忽焉沒。種族不存。當時之語言。今則死語矣。當時之國家。今則死國矣。其不然者惟中國乎。今日四萬萬國民。皆爲皇帝之子孫。社會之組織制度。與三載之舊無異。故地球上求永遠不死之國。有一中國而已。

(一)消極方面では(イ)民國三年三月二日公布の治安警備條例を即時に廢止す(ロ)民國三年三月二日公布の出版法を即時に廢止す(ハ)民國三年四月二日公布の新聞紙條例を即時に廢止す(ニ)民國三年三月三日公布の預戒條例を即時に廢止す(ホ)戒嚴令第十四條は國會會議の議決が又は市民の請求により、行政官の自由處置に任ずべからし(二)積極的方面では(イ)言論自由出版自由、集會結社自由、書信秘密自由、此四種の自由は憲法以外更にに制約的法律を設くるを得ず、是れ實際政治を云ふもの、所謂文化運動の別働隊である之に對し八月五日の中華新報は歐米は政治自由を得得經濟的自由を爭ふも、支那人民は政治經濟共に奴隸の境遇に在るが、政治上の壓制が一番酷く、支那には資本階級はない、從つて所謂資本階級の大害のない國柄である、胡適諸氏は超政治的態度を捨て、政治改革に力を盡し、各省の軍權政治を去り地方自治及教育の擴張に力を致しては如何と著論した、社會主義に一針砒を與へたものであらう

陸承武の仇討願

▲消極も甚し

徐樹錚の爲めに殺された陸建章の子陸承武は今徐總統に左の如き願書を提出したり

職父陸建章は七年六月和議調停の爲めに上海より天津に來れるに徐樹錚は奉軍司令部に誣誘して統統せり其時海内冤を叫びたるも惡黨の勢力滔天、控訴する所なし故に冤に沈むこと三載、伏して念ひに職父は戰禍を弔めんとて奇冤に罹れり、徐樹錚は法を蔑視して大吏を擅殺せり天理國法均しく容れ難き所、現に奸人窮蹙の秋に値ふ正に職父昭雪の日たり、祈るらくは我大總統乾綱を整理して、明令を下し徐樹錚を誅戮して天下に謝し所有職父の機奪處分は悉く開復を與へ以て公道を彰にせら

國民大會地點は北京に決定す

▲徐總統は遼東軍の六省防禦同盟に反對す

▲李純張勳起用を否認す

▲曹錕は各國領事を招き亡命者の放逐を要求す

▲日本天津司令官は敷島艦に張勳萬福祿を招待せり

八月三日 (火)

▲段祺瑞病む

▲馮玉祥は張勳起用反對を電す

▲安福系解散令發布

▲軍政府は段恩留不可曹錕懲罰を通告す

▲廣東軍福建を攻略すべしとの説盛んなり

▲本日の閣議は李純を和議總代表とするに決定す

曹錕は國民大會に反對なり

▲第二十七師長張作相を吉林督軍と爲し吉林督軍張寶麟を陝西督軍に轉じ第二十九師長吳俊陞熱河都統の後任となし張景惠を察哈爾都統と爲すべしとの説盛んなり

▲幸鴻銘は英字新聞紙上に日本の援助を借り帝制を恢復すべしと主張す府院は警廳に嚴究を命じ各新聞に國體論議を禁ぜり

八月四日 (水)

▲王揖唐離滬

▲曹錕、張作相、吳佩孚入京

▲總統府已令發布す

▲新內閣決す、交通部の機官運動盛んなり

▲國民大會に對し張曹新共に反對

▲鮑吉林督軍天津に向ひ孫烈臣し近く入京すべし

▲梁士詒は廣東に在るが北上を促がされたり

▲曹錕等は軍政府の聲援に感謝電を發す

▲吳佩孚長春店に赴く、段恩留を叫びて止す

▲國務院は和議總代表を李純に改めたるに就き各省に通知す

八月五日 (木)

▲米國議員團來滬

▲國民會議及將來の議會に對する準備として廣社組織計畫す

▲已未俱樂部は新聞に錢能訓を載せしむべく決議す

▲北京附近の兵變、コレラ發生

▲國民大會に張作相は通電を以て反對すべしと瑣瑣軍福建を討たんとしつゝあり

上海黃浦路三十一號

株式伊藤商行

支店及出張所

漢口 九江 香港 廣東

台北 京城

大阪 東京

電話 北二五九〇 北二三〇九

諸藥品、織機 絹綿布、雜貨 輸出入貿易

上海河南路八號

株式東亞公司

電話 中央 一七三四 四一二六

新利洋行

上海江西路八號

電話 中央 三六五八 三六六六

支店及出張所

東京、上海、漢口 宜昌、廣東、四川 重慶、成都、其他

MASUDA TRADING Co., Ltd.

増田洋行

増田貿易株式會社

上海支店

本社、日本橫濱市 上海江西路拾九號

目業品營

砂糖、麵粉、雜穀、肥料、木材、金屬、機械、鑽石、藥品、食糧品、海產物、塗料、油類、絹綿糸布、雜貨及船舶

所張出及店支

神戸、東京、大阪、名古屋、下關、小樽、釜山、大連、天津、漢口、ロンドン、シドニー、メルボルン、カルカッタ、新嘉坡

五元(四)上海威海衛烟台間片道五十五元往復
八十五元(五)上海天津間片道九十元、往復百
四十元

現在高

七月廿三日(木)	三、四〇〇、〇〇〇	二、一四〇、〇〇〇	四九五、〇〇〇
七月九日(木)	三、四〇〇、〇〇〇	二、一四〇、〇〇〇	四九五、〇〇〇

銀塊 銀塊

日(土)	六七、三〇	六八、五〇
日(日)	〃	〃
日(月)	六六、七五	六六、七一
日(火)	六六、八〇	〃
日(水)	六六、〇〇	六六、三五
日(木)	六七、三五	〃
日(金)	六五、七〇	六七、七五

事實國民大會なんてものも此の支那にド
シテ行はれやうか、吳佩孚や孫洪伊も政權を
獲るために、いろんな地盤を造らんとしつ
ゝ、あるは衣の下に鑑が見ゆる清盛と一般だ
ゝ上海の暑氣は十七年目と古老は語る、支那政
局は毎年ながら暑い、藤雨一過を望むや久し

支店及出張所
東京、横濱、神戸、漢口、沙市、
宜昌、萬縣、重慶、大連、樊城、
老河口、鄭州

▼其形細粒然も
効力頗る強大
事務家、旅行者
日常の携帯、使用に良し
大瓶 百粒入（六日分） 大洋七
小瓶 五十粒入（三日分） 大洋四
▼到る處の有名藥店に販賣す▼

●本劑は朝鮮人參に其のエキスを調製せり

▼其形細粒然も効力頗る強大

事務家、旅行者、日常の攜帶、使用に良し

大瓶 五十粒入 (六日分) 大洋七
小瓶 五十粒入 (三日分) 大洋四

▼到處の有名藥店に販賣す▼



